



ベルコンからヤードに  
ずり積み込み状況

トンネル坑口から500mの残土運搬は目の前の「仮称岐阜インター」の為、走行距離が短くダンプ稼働台数は数台のみで組合のダンプは稼働しませんでした。その後、昨年10月からようやく本格的に工事が開始されトンネル掘削残土を運搬しています。主に

### 西松建設(株)

「仮称本巣パーキングエリア」まで。組合のダンプカーは常時5台稼働しています。工期は2021年3月までなので本格的な運搬は来年度早々まで、あとは仕上げ段階になるかと思われます。岐阜分会の安全運転走行で多田さんが最優秀賞を西松建設から受け他5名のうち4名の組合員が表彰されました。時代はドライブレコーダーで走行確認

# 東海環状自動車道

## 岐阜県山県第一トンネル

審査を行うようです。これからも多くの組合員が交通安全に注意し表彰される事を期待致します。

### 株福田組

同じ山県第一トンネル東工区の現場にも組合員が稼働しております。坑口は西松建設現場の反対側で山県市から2.330mのトンネル施工を行う工事です。



DUNP NEWS

6月25日(木曜日)

発行所 北陸ダンプ書記局  
〒920-0203  
石川県金沢市木越町チ77-2  
編集 書記次長 中本誠治  
北陸ダンプ支部アドレス  
hokuriku-d@forest.ocn.ne.jp  
TEL 076-257-4885  
FAX 076-257-4886

全国ダンプ定期総会後3月から(6月16日現勢)の増加数は10名で減少は7名である。拡大のペースとしては少なすぎるが新型コロナウイルスの影響で業界が沈みがちな状況の中での拡大数はいたしかたない。

### 北陸ダンプ支部組合員拡大の取り組み

おけば減るばかりである。拡大の基本はチラシによる宣伝行動でひとつには昼休み宣伝(昼宣)である。ダンプ運転手が昼食をする場所、例えば道の駅駐車場でチラシを渡し会話をす

ち伏せ宣伝(待ち宣)である。交通量が少ない道路等でダンプが停止した時に素早くチラシを渡す。危険を伴うのも現実である。この二つの宣伝行動を地道に繰り返してきた。

あつた。基本のふたつには組合員による紹介運動がある。実はこれが一番確実である。力持ちの幹部に紹介をお願いして先日も夫婦でダンプに乗っている心強い2名が組合に加入した。しかし一部の幹部だけでは数に限りがあるので中本書記次長から「組合員名簿で全員に電話をして紹介協力をお願いしたらどうか」とアドバイスを受けさっそく実行することにした。

組合員拡大は片手間の運動ではない。毎日の行動の積み重ねであり、未組織のダンプの人達が「組合に入ろうか」という心に訴える運動でもある。そして就労闘争を指揮する中本次長と組織拡大担当の立野との情報共有が日常的に必要である。就労闘争と組織拡大は「車の車輪」であること忘れてはならない。

北陸ダンプ支部支部  
参事 立野正俊



株福田組・青協建設 朝礼風景

工期は2023年3月末なのでまだ2年半弱は就労があります。元請け福田組・1次下請け青協建設で左の写真は就業前の朝の朝礼風景です。安全運転で最後まで事故のないように



青木あすなる 朝礼風景

「犀川遊水地五六川牛牧排水門整備工事」現場において朝礼に参加し各職長からの本日の作業内容等を確認し活動ミーティング後に現場就労にあたる岐阜分会組合員。就労期間も多少延びて7月末頃終了予定?本日もご安全に!

### 青木あすなる建設

全国ダンプ部会からのお知らせ

日々の奮闘たいへんご苦労様です。  
国土大臣宛に署名を提出する  
森谷稔全国ダンプ部会長(4202通)

尚、新型コロナウイルス感染防止の為2020年度6月末日までは本省入場はできず外部にて提出いたしました

### 過積載

違法改造して運行するダンプの取り締まりも同時に強化し摘発すべきです

過積載が各地で復活しています。過積載根絶な有効な手段として、重量リミッター「過積載防止装置」の開発・装着義務付けの運動に取り組んでいます。道路法にもとづく大型車両の違法行為「過積載」の取り締まり・指導強化及び罰則については、荷主・荷受人に当たる企業もその対象に当然加えるべきです。

絶対にしないさせない 過積載

ぜったいにしません 過積載

過積載は、運転者だけでなく関係事業者・荷主等も罰せられる違反行為です。

1人はみんなのために  
みんなは1人のために

一人でも入れる  
ダンプ・建設労働者の  
労働組合です

全日本建設交通一般労働組合全国ダンプ部会  
全国ダンプ 検表



